

IoTセキュリティ総合対策について

平成 29 年 10 月
総務省 政策統括官(情報セキュリティ担当)

IoTセキュリティ総合対策(平成29年10月3日 公表)

脆弱性対策に係る体制の整備

(ライフサイクル全体を見通した対策)

(脆弱性調査の実施)

- セキュリティ・バイ・デザイン等の意識啓発・支援の実施
- 認証マークの付与及び比較サイト等を通じた推奨
- IoTセキュアゲートウェイ
- セキュリティ検査の仕組み作り
- 簡易な脆弱性チェックソフトの開発等
- 利用者に対する意識啓発の実施や相談窓口等の設置

- 重要なIoT機器に係る脆弱性調査
- サイバー攻撃の踏み台となるおそれがある機器に係る脆弱性調査
- 被害拡大を防止するための取組の推進
- IoT機器に関する脆弱性対策に関する実施体制の整備

研究開発の推進

民間企業等におけるセキュリティ対策の促進

人材育成の強化

国際連携の推進

- 基礎的・基盤的な研究開発等の推進
- 広域ネットワークスキャンの軽量化
- ハードウェア脆弱性への対応
- スマートシティのセキュリティ対策の強化
- 衛星通信におけるセキュリティ技術の研究開発
- AIを活用したサイバー攻撃検知・解析技術の研究開発

- 民間企業のセキュリティ投資等の促進
- セキュリティ対策に係る情報開示の促進
- 事業者間での情報共有を促進するための仕組みの構築
- 情報共有時の匿名化処理に関する検討
- 公衆無線LANのサイバーセキュリティ確保に関する検討

- 実践的サイバー防御演習(CYDER)の充実
- 2020年東京大会に向けたサイバー演習の実施
- 若手セキュリティ人材の育成の促進
- 若手セキュリティ人材の育成の促進

- ASEAN各国との連携
- 国際的なISAC間連携
- 国際標準化の推進
- サイバー空間における国際ルールを巡る議論への積極的参画